

ワークショップの概要 「まちづくりの体制」をテーマに話し合いました。

11月26日(日)に鞆公民館の2階ホールで、「鞆まちづくりビジョン」策定に向けた第9回ワークショップを開催し、行政職員を含む約50名が参加しました。

各グループに分かれ「鞆まちづくりビジョン実現に向けたまちづくりの体制」について、「やっていること」「すぐに出来そうなこと」「力を借して欲しいこと」「あったらいいな」まで、4つの視点でまちづくりの体制づくりについて考えた後、「このグループでまちづくりプロジェクトを行うとしたら」という設定のもと、グループごとに自由なテーマのプロジェクトとその実行体制などについてアイデアを出し合いました。

(仮想) 鞆のまちづくりプロジェクト

<各グループのようす>

保育所・中学校跡地再生プロジェクト ～みんなの夢が実現する場所～

【目的】 地域を元気にするため

【役割】 プロジェクトリーダー、サブリーダー、財政担当

- 体験学習の拠点 (文化・歴史、自然、産業)
※他都市の小中学生 特に都会の子どもたち
- 鞆まちづくり大学
- 子どもとお年寄りの交流の場
⇒農業・漁業の体験
- 常に誰かがいる場所 (食堂等)
⇒町なかで子どもたちが遊べる 核家族の子ども達が寂しくないように
- サロン (お年寄りと子どものふれあい)
⇒お話ができたり、宿題をもっていけたり
- 国の事業をとりこんでいければ
⇒話し合いの場にする



ゼロから墓場まで快適に暮らすサポート (プロジェクト)

5つの部会を作って、部会ごとに「発展させること」「連携できること」を深め、「やれることリスト」を作成しました。

【役割分担と内容】

- | | | |
|----|-----|------------------------------|
| 会長 | 副会長 | こども部会 (利用増で場所探し、新企画、思い出づくり) |
| | 副会長 | 空き家部会 (情報⇒掃除依頼⇒有料⇒仕事になる など) |
| | 副会長 | ふれあい部会 (お助け隊、よそのサロン見学、サポーター) |
| | 副会長 | 見守り部会 (日頃の繋がり、老人会、他町との連携) |
| | 副会長 | 伝統・文化部会 (能舞台の掃除と活用、子ども⇒母⇒活気) |



各世代のリーダー育成グループ

- | | | |
|--------|-----------|-------------------------------|
| リーダー育成 | 経験者の強化・連携 | (各団体の代表が集まって話す) |
| | 未経験者の育成 | (小学校高学年の授業に組み込む、得意分野の人を探す など) |
| | 交流 | (声かけ、場所とり、イベント企画) |
| | 選出 | (投票、町内会で立候補 など) |



魅力満載よくばりプロジェクト

【目的】 しまなみ海道、尾道からやってきたサイクリストが古民家に泊まって、鞆の伝統を味わい、のんでさわいで、リピーター・ファンになる

- 【やっていくこと】
- 情報発信 (大学、鞆ファンクラブ)
 - 空き家を活用した宿泊施設 (空き家バンクの連携)
 - 環境整備 (サイクリングロード)
 - お酒が飲めるところ (Bar、飲食店)



鞆町のみなさんと「鞆まちづくりビジョン」を考える

いい鞆ニュース Vol.8

発行：福山市 2018年(平成30年)1月

お互いに共感しあえる鞆の将来を見据えた「鞆まちづくりビジョン」を鞆のみなさんと一緒に策定するため、2016年度(平成28年度)からワークショップを重ねてきました。

第1回ワークショップ 2016 (H28) 8/16 (火)
鞆の「よいところ」「改善したほうがよいところ」を付せんを書いて話し合う

第2回ワークショップ 2016 (H28) 10/5 (水)
第1回の話し合いを踏まえ、基本方針に書き込むべき内容を話し合う

第3回ワークショップ 2016 (H28) 11/26 (土)
日頃の思いを発表する「住民意見発表会」を開催

第4回ワークショップ 2017 (H29) 1/25 (水)
「基本方針(案)」について意見交換

第5回ワークショップ 2017 (H29) 2/11 (土・祝)
「基本方針(案)」について第4回に引き続き、意見交換を行い、とりまとめ
町並み保存拠点施設の活用方法についてアイデアを出し合う



第1回ワークショップのようす



第4回ワークショップのようす

鞆まちづくりビジョン基本方針(案)作成

基本方針(案)の5つのテーマについて話し合う

- | | | |
|--|---|---|
| 第6回
2017 (H29)
6/18 (日)
「安心・安全に暮らし続ける環境づくり」 | 第7回
2017 (H29)
8/19 (土)
「伝統・文化を受け継ぐ」 | 第8回
2017 (H29)
10/28 (土)
「出会い・ふれあい・支えあい」 |
|--|---|---|

第9回 2017 (H29) 11/26 (日) 「まちづくりの体制」

次回 「実現を下支えする行政の対応」



第7回ワークショップのようす



第8回ワークショップのようす

鞆まちづくりビジョンの策定

鞆まちづくりビジョンに基づく取り組み

次回 第10回ワークショップ 1/27 (土) 13:00～ 鞆公民館2階ホール
テーマは「実現を下支えする行政の対応」

【お問い合わせ先】 福山市建設局都市部都市計画課 (鞆まちづくり推進担当)

電話 (084) 928-1142 (担当：岩木)

鞆まちづくりビジョン基本方針（案）

基本的な考え方

1 安心・安全に暮らし続ける環境づくり

- (1) 地域と行政との協働により、子どもから高齢者、障がいのある人も安心して生き生きと暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。
- (2) 子育てしやすいまちづくりを通じ、将来の鞆を担う子どもが夢を育み育つことのできる環境をつくります。
- (3) 空き家対策や雇用の創出、日常の買い物など、生活圏としての鞆の活性化を図ります。
- (4) 災害時にも、住民どうしの助け合いを大切にするとともに、避難場所や緊急車両の通行の確保、地域による自主防災体制の強化を含めた防災・減災対策を行います。

2 伝統・文化を受け継ぐ

- (1) 歴史的・文化的価値の認識を共有し、町並みの保全をはじめとした文化財の保存・活用を図ります。
- (2) 鞆の歴史・文化の発信拠点を形成するとともに、重要伝統的建造物群保存地区の選定をめざします。
- (3) 住民どうしを繋ぐ伝統行事である祭りの継承に努めます。

3 出会い・ふれあい・支えあい

- (1) 地域の繋がりを活かし、子どもから高齢者、障がいのある人も、誰もが自分らしく輝き活躍できるまちづくりを進めます。
- (2) 鞆に暮らす人が訪れる人と快適に過ごし、国籍にかかわらず多様性を認めあうまちづくりを進めます。

4 まちづくりの体制

- (1) 子どもたちから高齢者まで各世代が連携したまちづくりを進めます。
- (2) 鞆まちづくりビジョン実現のための体制や役割を明確にし、短期的な取り組みと中長期的な取り組みを計画的に行います。

5 実現を下支えする行政の対応

- (1) 人と車が安全に安心して通れる生活道を含む交通システムを構築します。
- (2) 良好な保育・教育環境の形成や、地域活動拠点の整備、遊休公共施設の活用などを通じ、まちづくりの仕組みづくりを支援します。
- (3) 自然災害への備えや、防災体制の維持・強化など、行政が住民と協働して行うべき防災対策を計画的に行います。
- (4) 鞆の人々が安心して暮らせるインフラ整備を推進します。

1/27(土)のワークショップでは、このテーマについて話し合います。

※鞆に暮らすとは、仕事で関わっている人も含みます。

鞆まちづくりビジョン イメージ※

鞆まちづくりビジョン



※表紙や目次はイメージで、最終的に決定したものではありません

目次

はじめに

第1章 鞆まちづくりビジョンについて

- 1 鞆まちづくりビジョンの目的
- 2 鞆まちづくりビジョン策定の経緯

第2章 鞆の現状

- 1 地勢
- 2 歴史・文化
- 3 人口
- 4 産業
- 5 社会基盤
- 6 教育・福祉
- 7 鞆の人の思い

第3章 鞆まちづくりビジョン

- 1 「鞆まちづくりビジョン」基本方針
- 2 「鞆まちづくりビジョン」
 - (1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり
 - (2) 伝統・文化を受け継ぐ
 - (3) 出会い・ふれあい・支えあい
 - (4) まちづくりの体制
 - (5) 実現を下支えする行政の対応

おわりに

資料編

「鞆まちづくりビジョン」ワークショップでは、鞆に暮らす人々が、自分たちの子や孫の世代に思いを馳せながら、誰もが安心して自分らしく暮らし活躍できるまちを自らの手で実現していくために、互いに共感し合える将来像を描こうと議論を重ねてきました。

「鞆まちづくりビジョン」は、その実現のための具体的な地域主体の取り組みや行政からの支援、地域と行政とが協働する取り組みなどの方向性を示す、鞆の新たなまちづくりの指針となるものです。

